

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科	
科目名称 [英語名称]	保育実習指導Ⅰ [Guidance Before-after Internships in Day-care Center/Child Welfare Facilities]			実務経験 教員担当		アクティブ ラーニング	○
科目コード	750130	授業形態	実習	単位数	2	配当学年	3年次
教員氏名	金子 幸/若宮 邦彦			学位授与の方針 との関連	DP1(1) DP1(2) DP2(1) DP2(2)		
授業概要	<p>【保育所実習】 本授業の目的は、「保育実習(保育所)」に向けて、実習の意義・目的・内容について理解をすること、実習後に保育者としての課題を明らかにし、今後の実習に向けて新たな学習課題を設定することです。保育所実習に臨むためには、保育所実習の方法・心構え・守秘義務・記録の意義と方法・保育計画及び指導計画を理解し、子どもとのかかわりを考える必要があります。そのために授業では、実習日誌の書き方、指導案の作成、模擬保育の実施を通して、保育所実習の課題を明確にしていきます。また、実習後には、実習内容を振り返り、学びや課題を報告し、今後の実習に向けて新たな課題を設定していきます。</p> <p>【施設実習】 本授業の目的は児童福祉施設(保育所を除く)での各実習における意義と目的を理解し、保育について総合的な視点での学びを深めることです。オリエンテーションの後にゲスト講師による実践事例の講義を通じ、保育の観察・記録や自己評価を踏まえた保育の改善について理解を深めます。</p>						
関連する科目	「保育内容総論」「社会的養護」「児童家庭福祉」を事前に受講しておくことが望ましい。履修後は、「保育実習指導Ⅱ/Ⅲ」および「保育実習Ⅱ/Ⅲ」を履修すること。						
授業の進め方と方法	<p>【保育所実習】毎回の授業にて、演習形式の授業を展開します。授業の前半では、授業計画に沿った内容の講義を行います。後半では、各自が取り組んだ予習内容を基に、グループワークにて内容を深く考察していきます。【施設実習】主に実習施設や関連施設の先生方を講師として招聘し現場のリアルな講義を受講する。実習生としての基本姿勢や施設保育実践の概要、施設保育士の役割等を学びます。また、保育士の専門性と職業倫理についての理解を再考する機会にする。</p>						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育所実習の意義及び目的について 保育所実習の意義と目的、保育実習の内容について理解します。 2. 保育実習日誌の必要性、記述の方法、保育計画について 記録をする必要と記録の方法、保育計画の作成方法について学びます。 3. 保育指導案の作成 模擬保育実施に向けた保育指導案を作成します。 4. 模擬保育の実践 作成した指導案を基に模擬保育を実践します。 5. 保育指導案の考察 模擬保育を実践し、省察を踏まえた新たな指導案を作成します。 6. 実習中の心得 実習中の心得について理解し、注意事項などを確認します。 7. 実習課題の設定 保育所実習で身に付けるべき課題を明らかにします。 8. 事後指導、実習報告会 実習を通して見えてきた自らの課題を明らかにし、実習報告会を行います。 <p>【施設実習】</p> <ol style="list-style-type: none"> 9. 施設実習オリエンテーション 実習課題の設定を行います。 10. 障害者総合支援法の概要について、障害児入所施設の概要と、その支援について 障害者総合支援法について学ぶとともに、障害児入所施設の概要とその支援の方法について学びます。 11. 児童発達支援センターの機能と役割 児童発達支援センターの機能と役割について学びます。 12. 乳児院の実態 乳児院について学びます。 13. 児童養護施設の実態、被虐待児へのケアの在り方 児童養護施設について学ぶとともに、被虐待児へのケアについて学びます。 14. 障害を持つ子どもへの支援の在り方 障害を持つ子どもへの支援の在り方について学びます。 15. 施設実習事後指導、実習の振り返り 実習の振り返りを行い、自らの課題を明確にします。 16. 施設実習報告会 施設実習での学びをまとめ、報告会にて発表を行います。 						
授業の到達目標	<p>【保育所実習】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 保育実習に参加する際の心構えほか、保育計画・援助計画等の作成方法を習得する 2. 模擬保育を実施し、遊びを通じた総合的な指導について理解する <p>【施設実習】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 保育実習ⅠB(施設)の意義・目的、及び実習の内容と具体的事項を理解する。【姿勢・志向性の育成】 2. 社会的養護における子どもの支援と保育者としての専門性を理解する。【職業知識・技能の育成】 3. 子ども理解、実践の展開・評価・改善の一連のプロセスの理解を深める。【自己管理能力・生涯学習力】 4. 有効なコミュニケーション・スキル、子どもへの援助技術を高める。【職業知識・技能の育成】 						
授業時間外の学修	<p>【保育所実習】 乳幼児の発達に関すること、乳幼児の遊びに関することを各自で収集し、指導案作成に生かすことを予習とします。授業後は、授業で学んだ内容を振り返り、新たな情報収集をすることを復習とします。</p> <p>【施設実習】 施設実習に関する文献、先輩の実習日誌等を参考に各施設の機能・実習生に求められる役割・基本視点等について60分程度の予習・復習をする。</p>						
課題に対するフィードバック	<p>【保育所実習】レポートは評価後に返却します。【施設実習】レポート、最終試験は評価後、返却及び解説をします。</p>	評価方法		以下の項目に基づいて評価します。【保育所50点】1)学習意欲20点/2)実習報告会への取り組み意欲20点/3)レポート10点【施設50点】1)学習意欲35点/2)レポート10点/3)ワークショップ等5点			
テキスト	「保育実習の手引き」(南九州大学) その他、適宜資料を配布します。						
参考書	1. 保育実習日誌2. 保育実習の手引き3. 保育所保育指針解説書4. 実習日誌・指導計画案の書き方等配布資料5. 『施設実習ガイド 保育者として成長するための事前事後学習』(2,000+税)、駒井美智子他、萌文書林、2014						
備考	熊本市要保護児童対策地域連絡協議会委員(若宮邦彦)						